



ハイブリッド開催  
現地開催+ライブ配信

ランチョンセミナー13

# 子どもの風邪、鑑別できる？



日時

2022年8月28日(日)  
11:50~12:40 (50分)

会場

講演会場5 福岡国際会議場 4F  
「411+412中会議室」

座長

横田 俊一郎先生 横田小児科医院 院長

演者

森内 浩幸先生 長崎大学病院  
生命医科学域(小児科学) 教授

共催：第31回日本外来小児科学会年次集会  
富士フイルム株式会社  
富士フイルムメディカル株式会社

本セミナーは事前登録となっております。

詳細については年次集会ホームページ  
<https://site2.convention.co.jp/31sagpj/>にてご確認ください。

事前登録期間：2022年7月20日(水)まで



## 演題

# 子どもの風邪、鑑別できる？

長崎大学病院 生命医科学域(小児科学) 教授 **森内 浩幸 先生**

呼吸器感染症は子どもにとって最もありふれた疾患の一つだが、原因病原体が同定できるケースは多くない。感染部位や病態によって、様々な臨床診断名(例えばグループ、急性肺炎等)が付けられるが、多くの呼吸器病原体は多彩な病態を起こしうるため、疫学情報と臨床診断を組み合わせないと原因病原体を絞るのは困難だ。

原因病原体を早期に同定することのメリットは、第一に早期に治療介入出来ると予後の改善に繋がる(例:インフルエンザウイルス)。第二に、特異的治療法がなくても不要な抗微生物薬を使わずに済めば、副作用を回避し医療費を節減し薬剤耐性菌の増加を防ぐことが出来る。第三に、感染予防対策に繋がられる(例:新型コロナウイルス)。

近年様々な迅速抗原検出キットが開発され保険収載されており(例:インフルエンザウイルス、RSウイルス、ヒトメタニューモウイルス、アデノウイルス、新型コロナウイルス、肺炎マイコプラズマ、百日咳菌、A群β溶血性連鎖球菌等)、特別な装置も手技の習熟も不要で、数分程度で結果が得られる。PCR検査は感度が高い一方特別な装置や検査手技の習熟が必要で、結果を得るのに数時間かかる。しかし比較的安価で場所を取らない装置を用い、簡易的な操作のみで、1時間程度で結果が得られる核酸増幅検出法(例:インフルエンザウイルス、新型コロナウイルス、肺炎マイコプラズマ等)も開発されている。ただしこれらの検査は病原体一つ一つに対して行われるため、原因病原体が絞れていない場合は幾つもの検査を行う必要がある。

マルチプレックスPCRは一度で多くの病原体を調べることが出来るため、原因病原体が絞りにくい状況では有用性が高く、呼吸器感染症はその好例と言える。早期診断が診療方針に大きく影響を与える重症呼吸器感染症においては、非常に有意義だ。またその地域における疫学情報を提供し風邪の原因を推測する上でも有用である。